

九十九王子と熊野古道



熊野九十九王子は、京都から熊野三山に至るまでの途次、難行苦行の信仰の道をつなぐために設けられた神社です。熊野権現の御子神を祀る分社であり、水垢離、潮垢離等の禊ぎにより身を清め、心新たに熊野の地を遥拝し、また和歌会や里神楽等の法楽を行い旅の安全を祈願する場でした。

九十九王子は実数でなく数の多いこと、百は熊野三山を指すとも考えられます。王子社の中でも海南市の藤代王子社、印南町の切目王子社、上富田町の稲葉根王子社、田辺市中辺路町の滝尻王子社、田辺市本宮町の発心門王子社は、五躰王子社として特に格式が高いといわれています。

上皇・法皇の御幸とともに栄え、衰退していましたが、足利將軍家、紀州徳川家により復元や遺跡保存が行われました。

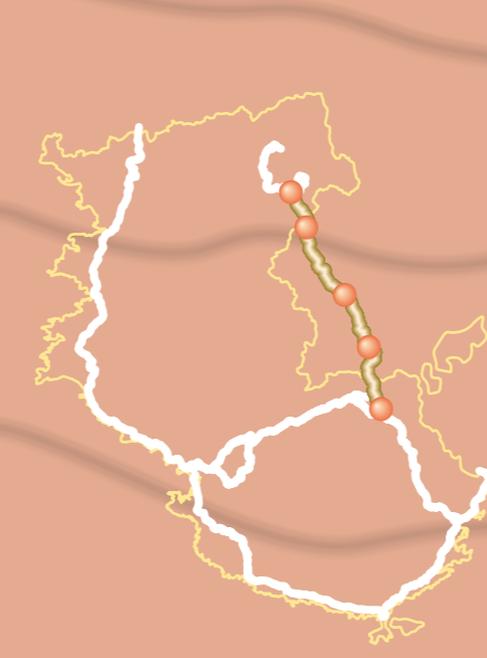
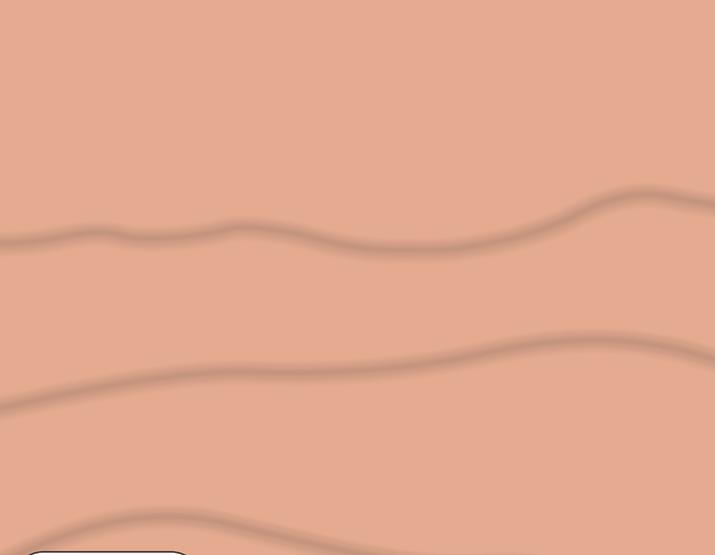
旅のお問い合わせは

- 高野町観光振興課・高野山観光情報センター TEL.0736-56-2780
- (一社) 高野町観光協会 TEL.0736-56-2468
- (一社) 高野山宿坊協会 TEL.0736-56-2616
- 野迫川村産業課 TEL.0747-37-2101
- 十津川村企画産業課 TEL.0746-62-0004
- 田辺市観光振興課 TEL.0739-26-9929
- 熊野本宮観光協会 TEL.0735-42-0735
- (一社) 田辺市熊野ツーリズムビューロー TEL.0739-26-9025
- (公社) 和歌山県観光連盟 TEL.073-422-4631
- 和歌山県観光振興課 TEL.073-441-2424

紀州路を歩く・紀州路を楽しむ

和歌山県街道マップ 熊野古道

小辺路



真言密教の聖地・高野山から熊野に至るコースです。世界遺産に登録された塔頭寺院金剛三昧院の参道の途中から山中へとわけ入ります。途中から高野龍神スカイラインと合流しますので、水ヶ峰入口までは車に注意しながら歩いてください。

野迫川村総合案内所から再び参詣道に入り、野迫川村の大股まで下り、そこからが小辺路ルートの最高地点、伯母子峠越えとなりますが、長距離で、アクセスも悪く、通して歩くのは難しいため、詳細は省略しています。伯母子峠越えは十津川村の三浦口まで、そこからは三浦峠越えとなりますが、ここでは、十津川温泉からの果無峠越えコースを案内します。

石畳の道を通って果無の集落に入り、道沿いに点在する三十三ヶ所の観音石仏に励まされながら標高1060mの果無峠を越えます。このような山中奥深くまで石畳道を造った先人の苦勞が偲ばれ、今に生きる大切な歴史遺産であることを実感します。

なにごとの おはしますをば 知らねども かたじけなきの 涙こぼるる
西行法師ならずとも、熊野の神々、自然に触れ、目的地に到達した時には、無欲無心の境地に達している自分を見いだすことでしょう。

ルートその1 [P4へ] 高野山～水ヶ峰

紀伊半島のほぼ中央部に位置する「熊野古道小辺路」と呼ばれる道は霊場高野山と神域熊野という二大聖地を最短で結ぶ街道で、熊野から高野へ向かう人々はこの道を単に「高野道」と呼んでいたようです。標高1000mを超える険しい峰々を行く「小辺路」は70kmを超える距離と、宿泊施設の少なさから相応の準備が必要となりますが、このコースは日帰り感覚で楽しみいただける区間です。

高野山からろくろ峠、大滝の集落を通り、高野龍神スカイライン沿いの「野迫川村総合案内所前」まで、若干のアップダウンはあるものの初級者でも充分お楽しみいただけますが、標高が高く、交通機関も不便であるため、充分計画を練ってお楽しみください。



くまの本宮より十七里と刻まれた丁石



ろくろ峠より薄峠方面を望む



小辺路の起点近くにある金剛三昧院の多宝塔(国宝・世界遺産)

ルートその2 [P8へ] 十津川温泉～熊野本宮大社

奈良県南部の十津川温泉を起点に、熊野本宮大社をめざします。標高1000m強の果無峠を越える行程はかなり険しいものですが、果無集落から八木尾にかけての峠道には、大正末期に地元の人々に寄進によって西国三十三番札所を模した観音石仏が据えられ、疲れた旅人を導き、癒してくれます。

果無峠への厳しい登りを過ぎ、七色辻まで下れば、奈良県からいよいよ和歌山県へ。八木尾で国道に合流したのち、三軒茶屋跡で熊野古道中辺路街道に合流し、程なく熊野本宮大社に到着となります。



果無集落から十津川温泉を望む



道行く旅人を見守る三十三観音石仏



果無集落 手前の石畳道



熊野本宮大社



三十丁石付近から本宮方面を望む



熊野本宮大社



熊野本宮大社

和歌山県街道マップのご利用にあたって

- この街道マップは、「高野参詣道」「熊野古道」に代表される和歌山県の街道を多くの方に歩いて触れていただくことを目的に製作したものであり、学術的な調査や研究に基づいて、古道ルートを規定・限定する意味で作られたものではありません。予めご承知のうえご活用ください。
- 「高野参詣道」「熊野古道」等の和歌山県の街道に関する情報・解説などは、和歌山県観光ホームページ(<https://www.wakayama-kanko.or.jp/>)の「世界遺産 高野山」、「世界遺産 熊野・熊野古道」でご覧いただけます。
- 登山届について
万が一に備え、必要に応じて登山届を提出しましょう。詳細は和歌山県警察 HP をご確認ください。
・問い合わせ先：和歌山県警察本部地域指導課【TEL】073-423-0110

古道散策の際には、以下のルール・マナーを守って歩きましょう。

- ゴミ(弁当からや空き缶・ペットボトル等)は、必ず持ち帰りましょう。
- 古道沿いの植物を傷つけたり、自然の草花を持ち帰ったりすることはやめましょう。
- 歩行が原則です。やむをえないとき以外は走らないようにしましょう。
- 歩きタバコやポイ捨ては絶対にやめ、喫煙マナーを守りましょう。
- お互いに気持ちよく挨拶を交わしましょう。
- トレッキングポールを使用する場合は先端の石突きにゴムキャップを使用するなど、道を傷つけないようにしましょう。
- 山中人気のない所や、携帯電話の通じないエリアもありますので、事前に計画をたて、無理のない行程で歩きましょう。また、山中は日の入り時間よりも1時間以上早く暗くなるエリアがありますので、十分ご注意ください。



熊野古道マップ

小辺路(高野山~熊野本宮大社)

至橋本

狭路のため通行注意

登山アプリ「YAMAP」では、和歌山県街道マップの各コースについて、地図データが利用できます。

アプリのダウンロードは右のQRコードから▶



至海南

至有田

至みなべ

至新宮

高野山~水ヶ峰
▶ P4,P5

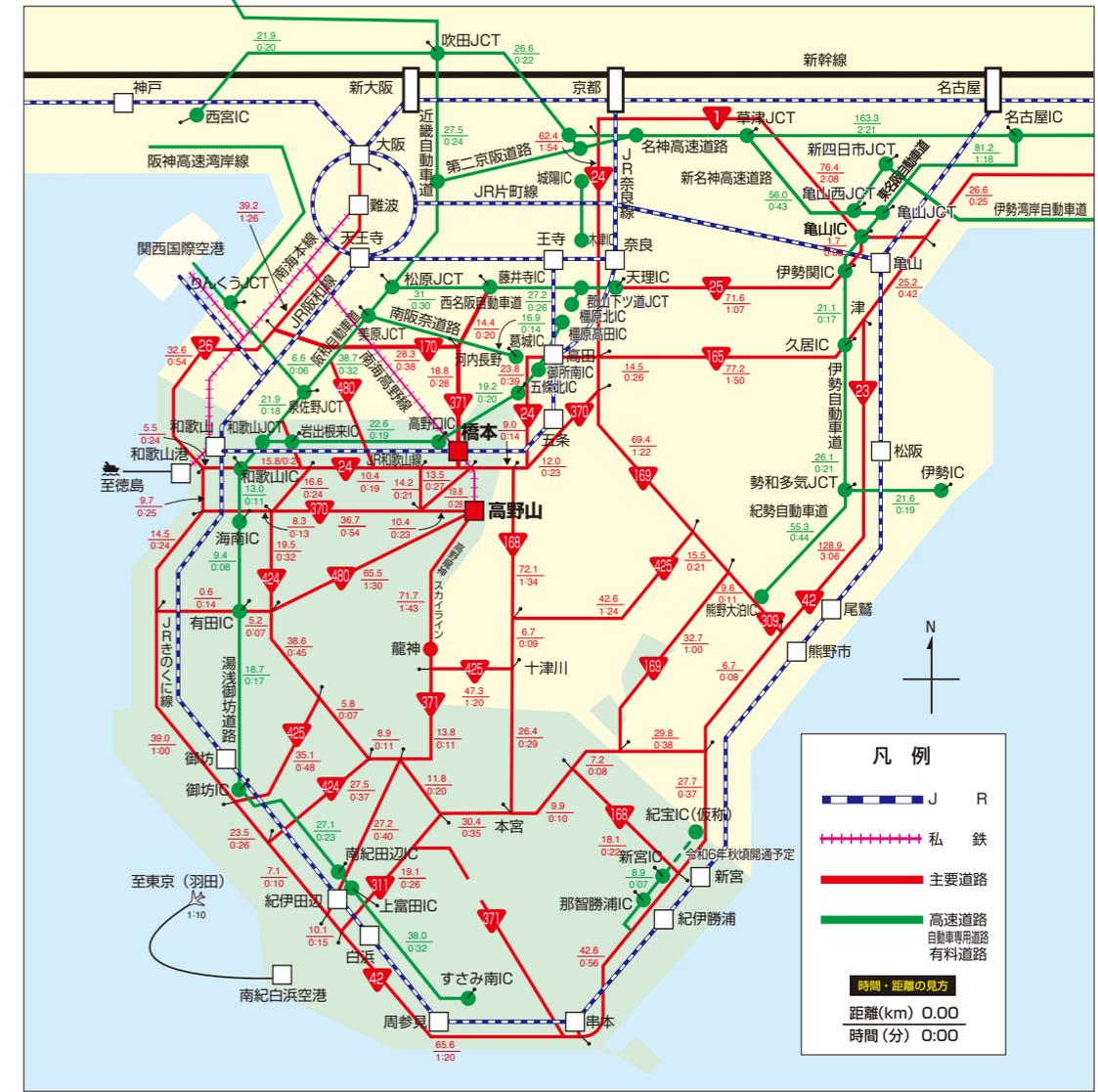
水ヶ峰~三浦口~柳本橋
▶ P6,P7

十津川温泉~熊野本宮大社その1
▶ P8,P9

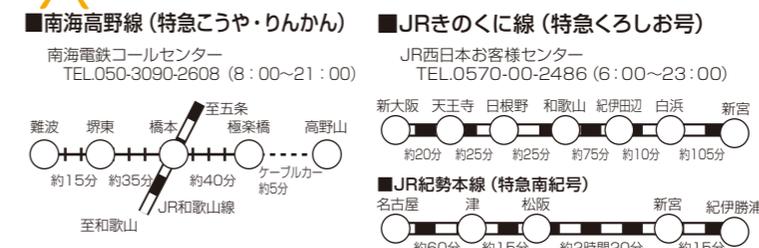
十津川温泉~熊野本宮大社その2
▶ P10,P11

縦断山道 小辺路

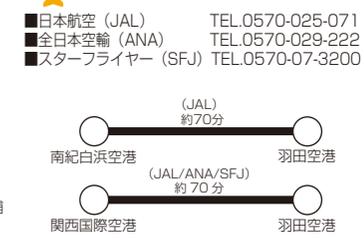
熊野古道 [小辺路] アクセスガイド



電車



空路



とつかわおんせん [十津川温泉(奈良県十津川村)~熊野本宮大社(田辺市本宮町)その1]

歩行距離 15.2km
標準歩行時間 5時間35分
標準所要時間 6時間58分

十津川温泉から熊野本宮大社へ、小辺路の最終ルート。
三十三観音に見守られながら果無峠を越え、いざ本宮へ。

熊野本宮大社への最後の峠越えのこの道は、今も古道の雰囲気を残しています。特に果無峠の登りには石畳も残っており、地元の信者によって祀られた三十三体の観音石仏は、峠を行く人々を見守ってくれています。ハードなコースの中にも古道を感じられる区間です。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



スタート地点までのアクセス

近鉄大阪線「大和八木駅」を起点に、近鉄南大阪線「高田市駅」、近鉄御所線・JR和歌山線「御所駅」、JR和歌山線「五条駅」を経由して、十津川温泉方面に運転している奈良交通のバスを利用し、「十津川温泉」バス停下車。
バス停周辺に旅館・民宿が集まっている他、少し離れた上湯温泉にもお宿があります。



ひとくちメモ

このコースをお歩きいただくには、前日に十津川温泉で宿泊。翌日早朝に熊野本宮大社に向かって歩き、熊野本宮大社参拝後、紀伊田辺駅又は、新宮駅経由でお帰りになる行程を組むのが一般的です。
十津川村でのお泊まりは、十津川温泉バス停周辺の平谷地区にひらける十津川温泉でのお泊まりが便利です。
お問い合わせ：十津川村観光協会 0746-63-0200

標準の歩行記録(参考行程:見学時間等を含む。十津川温泉で宿泊し、起点柳本橋から歩きました。)

十津川温泉バス停	7:30	柳本橋	7:40	果無集落	8:30	観音堂	9:30	果無峠	9:40	三十三石	11:05	11:10
(急坂の途中で休憩)												
七色分岐	11:25	林道出合	11:30	八木尾バス停	12:05	道の駅奥熊野古道ほんぐう	12:12	平岩口バス停	12:40	13:20	13:30	
(道の駅食堂で遅めの昼食)												
三軒茶屋跡	13:40	祓殿王子	13:45	熊野本宮大社	14:20	14:25	14:28	15時過ぎのバスで紀伊田辺駅経由で大和方面へ戻りました				

街道マップ「小辺路十津川温泉」熊野本宮大社その1

十津川温泉「熊野本宮大社その2」P10

